



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴丸言

美しい人であれ、鶴丸生

生徒指導課主任 立元真一郎

先日行われた前期生徒総会での第3号議案は「鶴丸生らしきについて考える」であった。「これは生徒会執行部の諸君、随分と挑発的なテーマを掲げてきたな」と議案が予告された時、驚きと共に不安がよぎった。当然、個人々人によって「らしき」の受け止め方は千差万別であり、建学の理念「好学愛知」「自律敬愛」「質実剛健」及び校是「For Others」の全てを体現できている者こそが究極の鶴丸生であろうから、ハードルが高く議論の着地点をどう持つて行くのだろう、と心配してのことだった。実際には議論に入る前に生徒会長から「鶴丸生」を定義付ける意図はなく、議論を重ねていく中でそれぞれの思いの中で「らしき」を確立していった。その方向性が示されたのでその思いは杞憂に終わった。

当初はテーマ自体に疑問を呈する意見も散見されたが、鶴丸生活が長くなってきた上級生から「らしき」を追い求めて葛藤している現状が語られ始めたあたりから議論に加速がつき始めた。そして、高い目標を掲げるより、今あるルールを遵守すること、出来て当たり前であることを確実に積み上げていくことで「鶴丸生らしき」を各々が追い求める理想の姿で体現していきけるのではないかと、一応の着地点を見出して議論はまとめられた。「なるほど、皆自分事として良く分かってはいるんだな。」と私は思わず呟いた。

その中でも（私なりに）鶴丸生らしいと思えた生徒の多くが所作の美しい者たちであった。特に印象に残っている生徒とは、ある朝シンデレラ階段の下駄箱で出会った。登校時、下駄箱の一番下段にあるスリッパを取り出そうとしていたその女子生徒は立姿勢のままスリッパを折り、背筋をピンと伸ばしたまま流れるような一連の動きで履いていた。スリッパからスリッパへと履き替え、靴を持ち直し再び姿勢を整え教室へ向かおうとしていた。見惚れていた私は思わず、「所作が美しいね。素敵だね。」と声をかけずにはいれなかった。すると茶道部に所属しているという彼女は、「はい。ありがとうございます。そのように努めていましたので、褒めていただき、嬉しいしこれからの励みになります。」とまっすぐな視線で返事を返してくれた。所作の美しきは偶然では出せない。意識して日々鍛錬を重ねてこそ「さりげなく」振舞えるものだ。

彼女に限らず、「三業を整える」ことを実践できている者こそ鶴丸生に相応しいのではないだろうか。三業（さんごう）とは、禅の教えにあたるもので身体の「身業」、言葉の「口業」、心の「意業」のことであり、所作を正しく美しく振る舞えば、言葉も美しくなり、心も整うという意味だ。人は振る舞いの美しい人に近づきたいと思うものである。私が彼女の所作に心引かれたのも「心の美しさ」に触れたからであろう。

所作の美しい人と接していると、自然と柔らかな気持ちになり、幸せな空間を共有すること間違いなし。周りがそんな人で溢れたら、何と素敵な世界になるだろう。勝手に夢想しながら、鶴丸生にこそ、そういう美しい人となって世の中を輝かせてほしい、と切に願うばかりである。「鶴丸生らしきについて考える」ことを深く思考した皆さん、行動する時です。



↑2年生の綱引き大会に
加勢する先生方

薫風爽やかに、春の一日遠足

4月27日（木）、爽やかな晴天の下、春の一日遠足が実施されました。新型コロナウイルス感染症対策が見直され、校内でのマスク着用が自由化されたことで、屋外では笑顔の生徒たちがのびのびとクラスの親睦を深める様子が見られました。

1年生は特攻平和会館と知覧町武家屋敷地区を見学した後、平和公園でレクリエーションを行い、鶴丸生としてより強く一致団結することができました。2年生は南薩少年自然の家に集合し、サンセットブリッジでの写真撮影の後、吹上浜海浜公園で各クラスの委員長企画による綱引き大会を行いました。3年生は爽やかな汗を流しながら千貫平登山を行い、頂上で受験に向けて学年の結束を誓う決意表明を行いました。

鶴丸生らしきとは何か

5月17日（水）7時間目に前期生徒会長選挙及び生徒総会が行われました。生徒会長選挙では、1年生の加治佐瑞希さんと2年生の神園怜佑さんが未来の鶴丸について熱い演説を行いました。生徒総会では、第3号議案の「鶴丸生らしきについて考える」をテーマに、全校生徒が真剣に議論を交わしました。

深い読書の世界へ

2・3年生集団読書

5月15日（月）、5月22日（月）7時間目に、2年生・3年生の集団読書がそれぞれ実施されました。今回の課題図書は、2年生が原田マハ作『太陽の棘』、3年生が朝井リョウ作『何者』でした。両学年ともに、ホームルーム委員を中心に議論の柱を立て、準備したワークシートやスライドを用いながら、クラス一丸となって作品について積極的な意見交換を行いました。1年生のホームルーム委員は、来月の集団読書に向け、2・3年生の様子を熱心に見学していました。当日が素晴らしい取り組みになることを期待しています。

今回の鶴丸では、事前に提出された感想文の中から、35R・中川瑠太さんの作文を紹介いたします。皆さんもこの機会に、読書の世界に踏み込んでみてはいかがでしょうか。

『本当の自分で』

「何者」は、私たちが形成している「自分」のその影で、周りから見えないようにしている部分にスポットライトをあてた作品だ。

物語の終盤、ずっと隠されていた拓人の一歩引いた位置で周りの人を観察して嘲っていた影の部分が、彼がずっと内心馬鹿にしていた理香によって浮き彫りにされていく場面は、私も緊迫した気持ちで読んだし、何だか自分が怒られているような気がした。

周りどころか、自分を信頼してくれる光太郎のことさえも素直に見ることができない拓人は、自分自身さえも見えなくなってしまっているように感じられた。

私はどうだろうか、拓人のようになってしまっているのだろうかと考えたとき、少し不安になってしまった。素の自分を出すのはやっぱり怖い、そう思うようになったのはいつからだろうか。周りが優れているから、自分が弱いから、虚勢を張った偽りの自分、見かけだけ大きなその影の中に本当の自分は隠れて出てくるのができなくなってしまう。自分に自信がなくなる。

だがそんな偽りの自分でも、本当の自分で接したいと、そう思える人はたくさんいる。大切だと思う人には自分自身を見てほしいから、人は努力するんだと最近気づいた。自分磨きといって努力を惜しまない人があることも納得できる。偽りの自分ではなく、ありのままの自分で向き合うことに意味がある。

拓人に足りていなかったのは、そこなのではないだろうか。誰に対しても「観察者としての自分」であってほしい。光太郎の素直な気持ちも、瑞月のまっすぐな目線と言葉も、仲違いしてしまったギンジの本質も、どれも見えていなかった。だから彼はまっすぐ成長できずに自分ではない「何者」だったのだらう。

私もまだ自分をさらけ出すのは怖い。けれども「何者」を読んで、自分の本質まで知られた上で認め合えたらいい、そのために自分をよりよくする努力をしよう、そう思った。

6月の行事予定

日	内容	時間	備考
6月1日	【教育実習期間：授業一級審判使用】		○
6月2日	【教育実習期間：授業一級審判使用】 選挙引継ぎ		○
6月3日			×
6月4日			×
6月5日	中間考査(1日目)	考査	×
6月6日	中間考査(2日目)	考査	×
6月7日	中間考査(3日目)	考査	×
6月8日	中間考査(4日目) 下校指導(～6月) 運動会委員会 5C卓球(大島先生 13:30～16:30)	考査	○
6月9日	学校安全の日 選挙引継ぎ 進路講演会(3年)	⑨～⑪ 45分	○
6月10日	進研ゼミ(3年) 職員会議(2年)		×
6月11日	進研ゼミ(3年)		×
6月12日	全校集会①	5分	○
6月13日	5C卓球(見玉先生 13:30～17:30)		○
6月14日			○
6月15日	学習時間調査～6/21 耳掃除指導(1年 13:30～)		○
6月16日	選挙引継ぎ 教育相談①	45分	○
6月17日	進学講座① 中論文読解(3年午後)		×
6月18日	職員会議(予定)		×
6月19日	学年集会① 定例教室相談(～6/22) 職員会議(1年) 教育相談②	5分 45分	○
6月20日	教育相談②	45分	○
6月21日	教育相談③	45分	○
6月22日	教育相談④ 中継戦 5C卓球(大島先生 13:30～16:30)	45分 午後18分 通	○
6月23日	選挙引継ぎ	45分	○
6月24日			×
6月25日			×
6月26日	劇制作・壮行会	5分	○
6月27日	2年進学旅行説明会(4校) 5C卓球(見玉先生 13:30～17:30)	午前 40分	本場 授業
6月28日	進学旅行		○
6月29日	進学旅行		○
6月30日	進学旅行 選挙引継ぎ		○

↑発行時の予定です。変更にご注意してください。